

◆ 2024年度第2四半期決算説明会での質疑応答内容

【質問】

上期は営業損失だが、通期見通しに関しての変更はないのか。

【回答】

上期はご指摘のとおり営業損失・当期純損失となっている。通期では当初公表どおりの収支を見込んでいる。ガス事業の特性上、冬場が最大需要期となり、下期に多くの売上・利益が計上される傾向にある。上期が3分の1、下期が3分の2といったイメージ。

足元では、原油・為替の水準が、当社の期首の想定水準と差異があることは認識しているが、今後の原油・為替等の外部環境や、需要期となる下期の需給見通し等を勘案した結果、現時点では、5月10日の業績予想公表値から変更はない。一方で、今後の外部環境や、需要動向等、さまざまな要素を見極めていく中で、仮に修正が必要な状況が確認された場合には、適時に開示等の対応を適切にとって参りたいと考えている。

【質問】

先ほどのご質問内容に関連して、上期はスライド影響マイナスということだが、通期のスライド影響について、為替影響や見通しもあわせて教えてほしい。

【回答】

2024年度の収支見通しは、通期で原油価格は1バレル90ドル、為替は1ドル145円を前提としている。売上高は、公表値から大きな変動はなく、ほぼ前期並みとなる見通しで、利益については、前期に比べて減益となる見通しである。主にガス事業において減益を見込んでいる。理由については、先ほどご説明したとおり。

ご質問のスライド影響については、前期に比べ減益に働く見込みであることに
加え、2023 年度において計上した大口需要家の未達補償料の反動の減等が、
減益となる主な要因である。スライド影響については、タイムラグと CIF 差と
いう 2 つの要素がある。タイムラグについては、前期においては、LNG 価格が
右肩下がりであったことの影響でタイムラグによる差益が発生した。3 カ月平
均を 2 カ月おいて適用するという形なので、こちらの影響が発生している。今
期は、LNG 価格が比較的落ち着いて推移しているため、前期と比べるとタイム
ラグ影響は減益に働く見通しである。CIF 差については、前期から継続して、
JLC が当社の購入する LNG 価格よりも低い水準で推移している状況である。当
期については、LNG スポット価格が落ち着いていることなどの影響で、前期に
比べると、JLC と当社購入価格の差が昨年と比べて少し広がるものと見ており、
CIF 差影響も減益に働く見込みと考えている。

以 上